

生物多様性国家戦略懇談会について

1. 目的

平成 7 年に策定された生物多様性国家戦略改定に向けての基礎的勉強を環境省として行うため、各方面の学識経験者で構成する標記懇談会を開催。

生物多様性の現状や取組についてレビューを行い、生物多様性保全と持続可能な利用に関する主要課題について検討。

2. 懇談会委員

浅野直人	福岡大学法学部長
大島康行	(財)自然環境研究センター理事長
座長 小野勇一	北九州市立自然史博物館館長
篠原 修	東京大学工学系研究科教授
星野進保	総合研究開発機構特別研究員
鷺谷いづみ	東京大学農学生命科学研究科教授

3. 事務局

環境省自然環境局及び(財)自然環境研究センター

4. 開催経過

3月5日 : 第1回懇談会(生物多様性をめぐる内外の動向等)

4月10日 : 第2回懇談会(国立公園と野生生物等)

5月21日 : 第3回懇談会(全国的な自然環境データの整備、
二次林・里山の保全)

6月25日 : 第4回懇談会(NGOとの意見交換会)

7月23日 : 第5回懇談会(野生生物保護の現状と課題)

8月24日 : 第6回懇談会(自然保護分野の国際協力、懇談会
(最終回) 論点の整理)

(備考)

懇談会は原則公開とし、議論の要旨及び配付資料を懇談会終了後に環境省ホームページで公表。

生物多様性国家戦略懇談会の経緯

第1回懇談会（3月5日）

テーマ：「生物多様性をめぐる内外の動向等」

内容：生物多様性に係る最近10年の現状認識、生物多様性国家戦略の経緯及び概要等について説明し、戦略改定の課題について議論。

第2回懇談会（4月10日）

テーマ：「国立公園と野生生物等」

内容：国立公園、鳥獣保護区等の保護地域制度と動物生息実態等について、日光国立公園のケーススタディを交えながら説明し、保護制度のあり方について議論。

ゲストコメンター：日光地域のシカ、サル、猛禽類の生息状況と保護の課題についてコメント。

小金澤正昭 宇都宮大学農学部教授

遠藤 孝一 （財）日本野鳥の会栃木県支部副支部長

第3回懇談会（5月21日）

テーマ：「全国的な自然環境データの整備」「二次林・里山の保全」

内容：自然環境保全基礎調査の経緯とその内容を説明し、今後の全国的な自然環境データの整備について議論するとともに、二次林など里山の現状と保全方策について議論。

ゲストコメンター：初期の自然環境保全基礎調査の枠組み、植生自然度等についてコメント。

糸賀 黎 長野県自然保護研究所総括研究員

第4回懇談会（6月25日）

テーマ：「NGOとの意見交換会」

内容：生物多様性国家戦略見直しに係るNGOの意見を踏まえて意見交換を実施。

<NGO発表者>

吉田 正人 （財）日本自然保護協会 「自然公園と生物多様性等」

金井 裕 （財）日本野鳥の会 「渡り鳥の保全等」

青木 進 （財）日本生態系協会 「エコロジカル・ネットワーク計画等」

草刈 秀紀 （財）WWF ジャパン 「野生生物保護法制定等」

第5回懇談会（7月23日）

テーマ：「野生生物保護の現状と課題」

内容：野生生物の現状、保護制度、課題等について説明し、今後の野生生物の保護管理について議論。

ゲストコメンター：種の保存法、鳥獣保護法の課題及び猛禽類保護の課題についてコメント。

三浦 慎悟 森林総合研究所東北支所地域研究官

井上 剛彦 日本イヌワシ研究会副会長・クマタカ生態研究グループ副代表

第6回懇談会（8月24日）

テーマ：「自然保護分野の国際協力」「懇談会論点の整理」